

# 令和8年度 長野県福祉大学校 学校評価（自己点検評価）

## I 教育理念・目的

保育及び介護福祉に関する専門性を、少人数の強みを活かしたきめ細かな指導と現場と結び付いた実践的な学びを通じて育み、こどもから高齢者までの生活を支える力と、将来の福祉現場を担い導く基盤を備えた人材を育成します

## II 教育目標

### 1 現場で確かな支援ができる実践力の育成

現場との連携を通して状況を深く理解し、支援を必要とする方々の生活の質の向上を見据えながら、自ら判断して行動できる実践力を育成します。

### 2 地域を理解し、地域とともに歩む姿勢の育成

信州の自然・文化・歴史を理解し、地域の人々と連携して課題に向き合いながら、福祉向上に向けて自ら役割を見だし継続的に関われる力を育てます。

### 3 自ら学び続け、行動につなげる主体性の育成

少人数教育を活かして自己理解を深め、主体性を発揮しながら多様な人々に寄り添って行動できる力を育成します。

## III 重点目標（中期目標）

重点目標とは、令和8年度から令和12年度までの5か年を対象とした中期重点目標を設定し、教育の質向上および学校運営の充実を図る目標です

### 1 地域や現場での体験を「自分の学びとして整理」し、成長を実感することで、主体的に動ける専門職の育成

福祉施設（保育所、介護施設等）、地域社会での実体験や探究活動（フィールドワーク）において、学生が自ら課題を見出し、それを「自分の学びとして整理」する習慣を定着させます。日々の気づきを言語化し、自らの専門性の高まりを成長として実感することで、将来の福祉現場を自律的にリードし、多様な人々に寄り添って行動できる主体的な人材を育成します。

### 2 福祉現場のDX化に対応した実践的なデジタル活用能力の育成

1人1台PCとWi-Fi環境を整備し、経済的理由で格差が出ないようにPC貸与等の支援体制を適切に運用します。将来の福祉・保育現場で必須となる事務作業、情報共有、利用者支援に直結する実践的なICTスキルを、全学生が確実に習得できる教育体制を構築します。

### 3 地域・施設・高校との連携による「実践の場の拡大」と、福祉の魅力発信による入学者確保

地域への協力や施設の開放など、「地域の拠点」としての役割を強化し、学生が地域社会と深く関わる実践的な学びの場を拡大します。また、高校との連携を強め、本校での学びの価値や福祉の魅力を積極的に発信することで、学習意欲の高い学生を安定的に確保し、学校運営の基盤を強固にします。

## IV 学校評価（自己点検評価）

### I. 教育理念・目的・目標

評価項目（基準）	評価 (1-3)	評価の観点
1 教育理念に基づき、養成する人材像を反映した「卒業認定・学位授与の方針（DP）」が策定・公表されているか。		教育理念に沿って、どんな人材を育てるかが明確に示されており、それが卒業要件として分かりやすくまとめられ、きちんと公表されているか。
2 理念・目的が、教職員だけでなく学生や社会（HP 等）に広く周知・浸透しているか。		学校の理念・目的が、HP などを通じて、学生や社会へ広く公開・周知されているか。

### II. 教育課程・教育の実施・学修成果

評価項目（基準）	評価 (1-3)	評価の観点
1 教育課程の体系性と到達目標の明確化 教育課程編成・実施方針（CP）に基づき、講義・演習・実習を体系的に配置し、限られた修業年限内での到達目標（育成すべき人材の水準）を明確に設定しているか。		教育課程（CP）が体系的に編成され、到達目標が明確に示されているか。 「何を身につけさせたいのか（到達目標）」が明確で、そのための授業（講義・演習・実習）が体系的に組まれているか、
2 実践的・体験的教育の実施（学内・企業・地域連携）教育目標達成のため、以下の活動が適切に設定・実施されているか。 ① 学内体験活動：福祉大保育園等と連携した段階的な体験授業や模擬演習が実施されているか。 ② 地域連携・探究（歴史・伝統の学び）や地域貢献活動が実施されているか。 ③ 企業等連携：業界と連携した実習・演習の適切な時間数（割合）が確保されているか。		保育園連携、地域貢献、企業等との実習など、現場と結びついた実践的な学びが計画・実施されているか。 ・実践的・体験的活動が教育目標とつながっているか ・適切に計画、実施されているか ・学生の学びが保証されているか ・学内外との連携が機能しているか
3 シラバスの運用と客観的な成績評価 全ての授業で具体的目標を明記したシラバスを運用し、GPA 等の成績評価基準に基づき、学生の学修成果を客観的に判定・記録しているか。		全授業で具体的な目標を明記したシラバスが運用され、GPA 等の基準により客観的な成績評価が記録されているか。
4 学修成果の組織的分析と目標達成 学科・コースごとに、資格・免許の取得率や希望進路の実現状況などの学修成果を組織的に分析・活用し、目標を達成できているか。		資格取得率や就職状況等のデータを組織的に分析し、教育目標の達成や改善に活用できているか。

### Ⅲ 学生の受入れ・学生支援

評価項目（基準）	評価 (1-3)	評価の観点
1 入学者受入れ方針（AP）に基づき、公正かつ妥当な選抜が行われ、定員管理が適正になされているか		入学者受入れ方針（AP）に基づき、公正な入試選抜が行われ、定員管理が適切になされているか
2 ICT環境（1人1台PC、Wi-Fi等）が整備され、経済的格差が出ないよう貸与等の支援体制があるか、		1人1台PCやWi-Fi環境が整備され、経済的理由による格差が出ないよう貸与等の支援が行われているか。
3 学校保健計画に基づく学生の心身の健康管理体制および、多様な学生（障害学生・留学生・社会人等）に対する相談・支援体制（外部連携を含む）が整備され、適切に運用されているか。		学校保健計画に基づく健康管理や、障害学生・留学生等への合理的配慮・相談支援が適切に運用されているか。

### Ⅳ 教員組織・教員の資質向上（FD活動）

評価項目（基準）	評価 (1-3)	評価の観点
1 授業改善のためのFD研修（年2回以上等）を組織的に実施し、教員相互の授業参観等が行われているか		授業改善のための研修や教員相互の授業参観が組織的に実施され、アンケート結果等が活用されているか
2 実務経験のある教員を適切に配置し、業界の最新動向を教育内容に反映させる仕組みがあるか。		福祉の最新動向を反映できるよう、実務経験を持つ教員が適切に配置され、その資質向上が図られているか。

### Ⅴ 学校運営・ガバナンス・改善（PDCA）

評価項目（基準）	評価 (1-3)	評価の観点
1 自己点検評価の結果をHPで公表し、外部評価（学校関係者評価）の結果を次年度の計画に反映させているか。		自己点検評価の結果を公表し、外部評価や学校関係者評価の結果を次年度の計画改善に繋げているか。
2 卒業生アンケートや関係業界等への調査を行い、教育成果の社会的有効性を検証しているか。		卒業生アンケートや就職先調査等を通じて、教育内容が社会で有効に機能しているかを検証しているか。
3 防災組織体制の整備および、施設・設備の整備・点検・補修等の安全管理が適切に行われているか。		防災計画や定期的な施設・設備の点検・補修が適切に行われ、学生の安全が確保されているか。

#### 【評価基準】

- 3：基準を満たしており、特筆すべき優れた取組がなされている。
- 2：おおむね基準を満たしており、適切な運用がなされている。
- 1：基準を満たしておらず、改善が必要である。